

事業報告 1

—京都商工会議所創立130周年記念「京都・知恵産業ウィーク」事業—
平成24年度 京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター
“目の輝き”成果発表会



日時：平成24年10月25日（木） 午前10時30分～午後4時
会場：京都市産業技術研究所 2F 多目的ホール

京都の知恵産業の発展につなげる！

京都市産業技術研究所知恵産業融合センターでは、活動の一端を広く知っていただくため、「目の輝き」成果発表会を開催しています。2回目の開催となる今年は、156名の方にご参加いただきました。

午前の部では、産業技術研究所の研究開発支援等の発表と、今年度実施している「知恵産業創出リーダーシップ育成プログラム」の塾生による知恵産業創出ビジネスモデルの中間発表を行いました。午後の部では、アンドロイド（人間酷似型ロボット）制作の第一人者でおられる大阪大学大学院石黒浩教授をお招きし、ご講演いただきました。また、支援企業による事例発表では、市内の3社から開発した製品や技術について発表していただきました。発表後には、来場者と支援企業が展示品を囲み面談されている様子も見られ、これまでの技術を新たな発想で展開する「知恵ビジネス」の可能性が感じられる一日となりました。

今後も、知恵産業の発展と振興につなげていくために、また支援企業の皆様の目が輝いていくように、産業技術研究所の技術力をベースにした支援により一層取り組んで参ります。最後に、多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

【研究開発支援等発表】



「2012/5 パリ・日本イベントでのアンケート調査報告」



「天然染料による引染及びインクジェット技術を用いた着物の開発」



「陶磁胎漆器の商品化と販路開拓」



「知恵産業創出ビジネスモデルの提案（中間発表）」

【特別講演】



大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授
ATR石黒浩特別研究室室長& ATRフェロー

石黒 浩 氏

「人間らしいロボットが切り開く未来」

石黒教授は、細部までリアルに表現したご自身そっくりのロボット開発を通して、「人の存在」という哲学的な問題を客観的に考え、「人間とは何か」「自分らしさとは何か」を探究されています。

【支援事例発表】



スキューズ株式会社

空気圧駆動型のロボットハンドを独自に開発し製品化されました。風船状の人工筋肉を組み込んだ5本の指を空気圧で駆動してにぎり寿司などの柔らかいものをそっと掴んで運ぶことが可能です。京都の伝統的な組紐技術が応用されています。



株式会社テクノブレイン

航空分野で利用が広がっているリアルタイム3Dコンピュータグラフィックス技術を紹介。10年がかりで開発したシステムは、汎用パソコンでも動作可能で、動画によるPRツールとして、他の産業分野への応用展開が期待される技術です。



株式会社パールトーン

着物等の撥水加工で定評のあるパールトーン加工を、雨水等による土壁の崩落や汚れの防止に応用し、新規事業展開につなげたと発表。既に京都の有名日本旅館や老舗和菓子店などで採用されています。

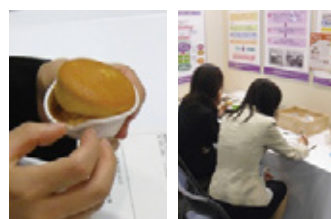
『中信ビジネスフェア 2012』に出展しました！

平成 24 年 10 月 17・18 日、京都府総合見本市会館（パルスプラザ）で開催された中信ビジネスフェア 2012 に京都市産業技術研究所が出展し、当研究所についての展示紹介を行いました。

出展ブースでは、企業への技術支援や研究成果の紹介を中心に、知恵産業融合センターの企業マッチング支援事業や、市内企業が抱える課題やニーズなどの情報が検索可能な「企業情報分析システム」についての説明などを行いました。

そして今回は、当研究所バイオチームが小川珈琲株式会社の協力を得て開発した、お菓子の試作品についてのアンケート調査も実施しました。試作品は、酒造り以外での麴の用途拡大を目指す、当研究所の新たな試みの一つであり、経済産業省の地域イノベーション創出研究開発事業「100% 国産米原料による製菓用シロップ・粉体の開発」において、当研究所が大学や複数企業と共同で開発してきた米麴を用いた原料をもとに、小川珈琲株式会社の協力を得て製作しました。今回はお菓子の原料をあえてお伝えせずにご試食いただき、率直なご意見を伺いました。その結果、多くの方から「麴が原料とは思像もつかなかった。おいしい！」といったコメントなど、魅力的な商品開発につながる貴重なご意見をいただきました。産学公の連携により実現したこの新たなお菓子は、来年春には市場に出る予定です。皆様、どうぞお楽しみに！

このような展示説明やアンケート調査を実施する中、「いつも利用しているよ」とお声掛けくださるお客様や、展示された支援内容に関心をお寄せいただき、フェア後、当研究所にお越し下さったお客様もいらっしゃいました。これからも、皆様のお役に立つよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます！



知恵産業推進事業 研究開発支援

平成 23 年度 研究報告 1

PICK UP

天然染料による引染および インクジェット技術を用いた着物の開発

＜産業技術研究所加工技術グループ＞

天然染料を用いた着物の引染においては、染料を繊維に定着させる媒染処理が必要です。そこで、天然染料による引染及び暈かし技法に対する染色処方について技術開発を行いました。また、インクジェットプリントによる模様表現方法についても技術開発を行い、暈かし引染技法に、多彩な模様表現を可能にするインクジェットの技法を組み合わせて、全て天然染料で染色した着物を制作しました。



柄部分（ろう伏せ）付近を引染した直後の様子



引染したサンプル

企業支援事例

ホームページ掲載中

「パールトーン加工の土壁崩落防止処理への展開」に伴う技術支援

〈株式会社パールトーン〉

株式会社パールトーンと言えば呉服業界では有名な撥水加工のメーカーですが、今までにない新ジャンルへの挑戦です。きっかけは、戦後GHQにより洋風化された南禅寺地域の有名な邸宅を以前の日本建築に復元する中で、仕上がった土壁が、大雨により 2 年もしないうちに上塗りが侵食、崩落を起して困っているという相談を受けたことでした。その防止策としてパールトーン施工したサンプル壁に水をかけて実験したところ、撥水性等で驚きの効果が認められ、この施工技術が即採用されました。その後、さらに研究開発を進めたところ、土壁の持つ吸放湿性能を失わせることなく自然に仕上げることに成功しました。また、茶室において重要な侘び寂び感をもたらす「ほたる壁」ではたが飛ぶ※1ことも確認出来ました。



促進耐候試験後のサンプル土壁
（左：未施工、右：パールトーン施工）

当研究所では、パールトーン施工後も吸放湿試験において吸放湿機能が失われないこと、侘び寂び感として鉄粉の錆が未施工同様に現れることを実証するなどの技術支援を行って来ました。

この度、同社では特許出願も済ませ、「パールトーン土壁崩落防止技術」として商品化されることになりました。きものと同じく、建築においても日本の伝統を守ろうとする同社に期待が寄せられています。

※1 土壁に練りこまれた鉄粉の錆が浮かび上がり、「蛭」のように見えること。

「新しい何か」をお探しの際には、是非お気軽にご訪問ください！

知恵産業融合センター HP 随時更新中！

知恵産業融合センター

検索

京都の伝統技術と先進技術を融合した企業支援事例などを掲載しています。また、様々な技術セミナーや人材育成事業などに関する最新情報も、随時お知らせしています。